

人口減少を食い止める

戸山高校2年弦巻英雄

1 研究動機

(この研究は日本国内だけに限る) 日本の人口は年々減少しているとよく聞く。ではなぜ、人口は減少するのか、それを食い止める方法はあるのか気になったので、研究することにした。

2 研究方法

人口減少を食い止めるには主に3つの方法があると考えた。1つ目は合計特殊出生率を増加させること。2つ目は転入者を増やすこと。3つ目は転出者を抑えること。これらを過去の統計を用いてどのように人口が変化するかを調べる。

人口学的方程式

$$\text{人口変化} = \text{出生数} - \text{死亡数} + \text{転入数} - \text{転出数}$$

↑

自然増減

↑

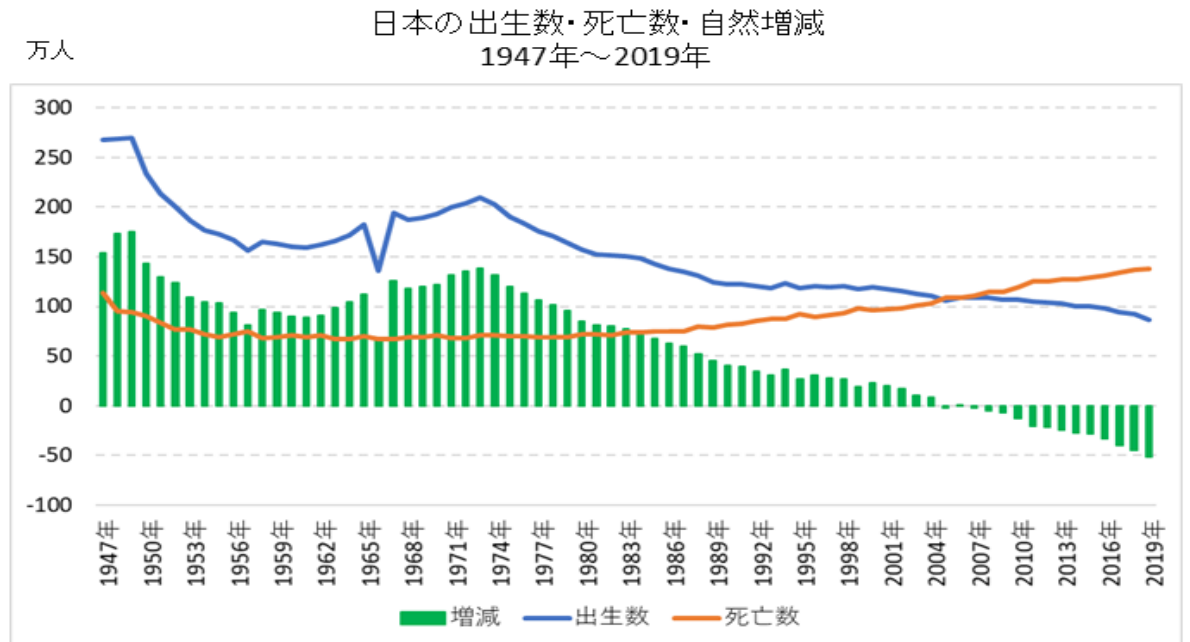
社会増減

日本の場合社会増減はほとんどないので自然増減によって人口変化は起きていると考える

3 結果・考察

上記に記載した通り、社会増減は考慮しないので、2つ目3つ目は考えなかった。

右図のように2004年あたりを境に死亡数が出生数を上回っていることがわかる。その時期から人口の減少が始まった。ここから人口を増加させるすなわち合計特殊出生率を上げるということだ。そうなると、青の出生数のグラフが赤の死亡数のグラフを上回り人口が増加するだろう。



4 感想

人口学の考えを取り入れてみた。新たな道少しが開かれた気がした。合計特殊出生率が増えたら人口が増えるというのは少し考えれば分かることだが、それを様々な視点から考えてみるとなんだか新鮮だった。すこし悔いも残るが充実した2年間だった。

5 参考文献

厚生労働省人口動態統計
日本の構造 橘木俊詔